

第63回応用物理学会春季学術講演会ランチョンセミナー

続



# オープンサイエンスと著作権

日時:2016年3月19日(土)12:15~13:00

会場:W521(西5号館2F)

主催:  国立研究開発法人 物質・材料研究機構  
National Institute for Materials Science  公益社団法人 応用物理学会  

昨秋に開催した大好評ランチョンセミナーが、パワーアップして再登場!

内閣府が昨年3月に、サイエンスの新たな飛躍の時代の幕開けとして我が国におけるオープンサイエンス推進のあり方についての基本方針を発表しました。国際的動向を踏まえ、公的研究資金を用いた研究成果(論文、生成された研究データ等)について、科学界はもとより産業界及び社会一般から広く容易なアクセス・利用を可能にし、知の創出に新たな道を開くとともに、効果的に科学技術研究を推進することでイノベーションの創出につなげることを目指そうという趣旨です。

本セミナーでは研究データの共有について、著作権のないデータを共有するとはどういうことを意味しているのか、著作権の専門家に伺うとともに、STAM、JJAPの各編集長を迎えたブレイクセッションも行います。

## 1 5分で説明するオープンサイエンス

谷藤 幹子 STAM 出版ディレクター

## 2 講演『オープンサイエンスの文脈の中で データ共有の際に研究者として気をつけなければならないこと』

片山 史英弁護士 虎ノ門南法律事務所

## 3 ブレイクセッション『ジャーナル編集長が考えるオープンサイエンス』



山口 周長  
STAM 編集長



APEX/山田 明 委員長  
APEX/JJAP 編集委員長



片山 史英  
弁護士